



**あけまして おめでとうございます
ぴよんぴよん元気に参りましょう!!**

撮影 (株)大武写真館 小関克郎

里山は今

東洋医学リサーチセンター所長 神 正照

今年の季候は異常なのか、これまでに体験したことのない現象が続いている。夏の暑い日々が続いていたと思ったら、初秋になり、今では初冬の感じがしている。

里山にも異変が起きている。ドングリの実も少なくなっている。森林に生息する動物達が食べ物を探して、山里まで降りてきている。各地で、新聞のニュースになっている。ドングリの実がリスなどにより運ばれて、そこから発芽しブナ林が作られて来た。

里山は、灌木材も豊富であったが、今では手入れもされず放置されたままである。人の手が入らないため、動物たちはこの里山の垣根を越えて人家に現れるようになり、山には木の実になる食料はなく里山には手入れの届かない食料が沢山あります。動物たちは里山に人がいないことをみて人家に現れるようになって来ました。以前は熊の話が多かったのですが、この頃は特定の種類だけでなく色々な動物が現れるようになりました。各地で被害が出ています。

これは、里山の管理がされなくなって来たからです。里山には、村があり、池、畑があり自然と調和していました。池には蛙、ゲンゴロウ、ミズカマキリ、トンボも生息していました。今年は、トンボの飛翔が見られません。あの赤とんぼはどこに行ったのでしょうか。これらの昆虫たちが、小動物の餌と成っていました。このような餌が無くなったため、小動物は里山の垣根を越えて、人家までやって来るようになったのです。

柿の木に小熊が登り柿を食べている映像が出されました。本来ならば収穫されているはずでしたが、柿を取る人が高齢化になりそのまま残っていると事です。今では、街の中でも見られる現象です。何かがおかしいと気づくのは、私だけなのでしょう。自然の環境が変化している事を見る指標として、昆虫類を調べると判ります。身近にいた物が見ることが出来なくなってきました。

今年生物の多様化の国際会議もなされました。佐渡では、放鳥されたトキの繁殖地として里山は大切な生息する環境場所と成っています。これまで生息地を人は奪ってしまったのです。

今、棚田のあった自然を取り戻さなければなりません。人は自然と共有して行かなくてはなりません。自然環境の破壊で森との境界線が無くなってきたからです。もう一度、里山をみなおして低炭素社会を作っていくことが大切です。

年頭にあたって



仙台南法人会
会長 西下 義則

年頭に当たり会員皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返って見ても、我々を取り巻く環境は一段と悪化している感の中で、経営安定化を図っておられる皆様に敬意を表す次第で有ります。当会も皆様のご協力・ご支援を得、税務ご当局のご指導を頂きながら、日々改革に取り組み徐々に良い方向に進んでおります。

今年度の方針は、昨年度積み残し規約・規定関係の整備等を実施し、公益社団化申請を二十四年度までに実施できる事を第一目標と致します。

併せて、事業活動を積極的に展開し、昨年以上の実績をこなす事が何よりも肝要と思います。会員の皆様・各支部・各委員会・部会の積極的なご協力をお願い致します。

組織状況と致しましても、経済環境の影響などで会員数は減少が続いておりますが、企業の健全な発展に資する研修や講習会等を多く実施しており、「会員企業に役立つ法人会」を目指し

て活動を行っています。税制改正や行財政に対する意見要望も会員の皆様の声を国・県・市町に陳情などもおこなっているところですが、法人会の活動に対してご理解を頂きながら新規会員も併せて行っております。加入勧奨を推進できますようお願い申し上げます。

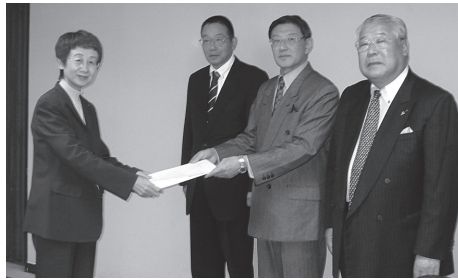
又、ご当局からの要請で有ります、国税電子申告・納税システム（e-Tax）の普及・拡大に全力投球をお願い致します。

最後になりますが、会員皆様の企業繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

税制陳情報告

社団法人仙台南法人会では、平成二十二年十一月から十二月にかけて、宮城県・仙台市・名取市・岩沼市・亘理町・山元町の管内自治体の首長、議会議長、県選出国會議員事務所へ会長、副会長、税制委員長などが直接、税制改正要望の陳情を行いました。

活動を行っています。税制改正や行財政に対する意見要望も会員の皆様の声を国・県・市町に陳情などもおこなっているところですが、法人会の活動に対してご理解を頂きながら新規会員も併せて行っております。加入勧奨を推進できますようお願い申し上げます。



新年の抱負

太白中支部 支部長 梶原 功

仙台南法人会親会が二年後の公益法人改革に向かって中支部全役員の協力を得て改革にあたって行きたいと思っております。

中支部といたしましては例年通り、会員増強、e-Tax普及、税務研修会、社会貢献事業、労務研修会、会員と会員以外との車座親睦交流会も行って行きたいです。又、太白三支部にて合同にて色々な行事も行っていきたいと思っております。

太白西支部 支部長 大河原 洋

副支部長 阿部 茂
副支部長 齋藤 貞夫

平成二十三年度支部活動目標
一、公益法人化に取り組み準備と理解を役員さんの皆様に協力をいただく事。

二、会員の皆様がより多く参加できる行事の企画を催す

・ 社会福祉に関する事・健康増進に関する事・環境美化に関する事
三、会員が未会員の法人をお誘い出来る企画を催す

・ 税に関する事・経営に関する事・金融に関する事
四、会員と会員のコミュニケーション
広場の具体的施策

五、本年も役員の皆様と会員の皆様のご協力をいただき、より良い法人会活動を活発にやりましょう!!

太白南支部 支部長 佐藤 和也

会員への法人会活動の理解を深めて頂き、勉強会、交流会、各種事業活動に参加して頂きます。今年も太白三支部合同での事業活動の一部行い、参加人数を増やします。会員皆様のご協力をお願い致します。

名取支部 支部長 小島 哲夫

公益法人制度改革に伴う準備期間として、本部と呼応して支部では様々な事業を幅広く展開して参りました。仙台南税務署の黒澤統括官を講師にお招きしての税務研修会の開催。本部研修会への積極的な参加。名取市商工会と共催してのパソコン教室。ワインを楽しむ夕べの開催。閑上海岸清掃を社会貢献事業として会員企業の従業員の皆様と参加。

今年も名取支部として平成二十四年度に申請予定の公益社団格取得に向けて本部並びに各支部と部会と事業を展開して参ります。地域をエリアとする法人会には役に立つ経済団体として、会員の皆様には各種事業にご参加頂きますよう誠心誠意進めて参ります。

岩沼支部 支部長 鈴木 嘉次男

賀正 昨年中に賜りました御厚情を深謝を致すと共に、今年も変わらぬ御

新年のご挨拶



仙台南税務署
署長 小野寺 匠

新年明けましておめでとうござい
す。

年頭にあたり、社団法人仙台南法人
会の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

仙台南法人会並びに会員の皆様には、
平素から税務行政の円滑な運営に
つきまして、深いご理解と多大なるご
協力を賜り、心より厚くお礼申し上げ
ます。

仙台南法人会は、「よき経営者を目
指すもの団体」として、適正申告を
目的とした税法研修をはじめとする
様々な研修活動や社会貢献事業に取り
組んでいると伺っております。

現在、新たな公益法人制度における
公益社団法人の認定を受けるべく、定
款や各種規約を整備し、会員一丸と
なって認定要件の達成に努めていると
聞いておりますが、そもそも法人会の
活動そのものが公益性の高いものであ
り、早期に認定を受けられることを
願っております。

さて、わが国は急激な少子化、高齢

化の進展により税収の落ち込みや支出
の増加が懸念され、行政はより効率的
な運営を求められております。

このため、効率的な事務運営を行う
ための一環として、インターネットを
利用したe-Taxシステムを導入し
ております。

仙台南法人会におかれましては、こ
の趣旨をご理解いただき、事業計画の
中にe-Taxの利用促進を掲げ、役
員企業や会員企業のe-Tax利用目
標を設定するなど、組織を挙げて利用
拡大に取組んでいただいております。

e-Taxは、ダイ
レクト納付制度の導入
など連年使いやすさが
向上しているところで
あり、皆様のご理解・
ご協力を賜り、より一
層の利用拡大に努めて
まいりますので、引き
続きご協力を賜ります
ようお願いいたします。

最後になりましたが、仙台南法人会
の益々のご発展と、会員
企業のご繁栄を祈念い
たしまして、新年の挨
拶いたします。

国税電子申告・納税システム

e-Tax

国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続きをインターネットで行えます。

交誼の程お願い申し上げます。さて、
会員企業に関わる経済情勢は依然とし
て厳しい状況にあるようですが、数年
前からの原油の高騰と国際的な天災
等々による、不安定な状況にあり一部
には明るさの兆しが見え始めて居る様
ですが依然として業種による経済格差
は明白であると推測を致して居る昨今
でもあります。

今年も法人会と致しましての法制化
に伴っての公益社団法人化への移行認
定に向けての作業も着々と進行中では
あります。今後も法人会事業活動に於
いての会員増強は元より事業に関わる
内容と充実の徹底を図り会員相互の連
携を深め会員企業の御繁栄を願っての
微力乍ら貢献を致す所存でありますの
で今後共御指導御協力を宜しくお願い
申し上げます年頭の御挨拶と致しま
す。敬具

巨理支部 支部長 岩佐 重光

変らぬ世界不況の中、それに加えて
北朝鮮の無気味な動きの中での日本は
先行き全く見通しのつかない現状です
が、今年も昨年同様、研修会や親睦活
動等、異業種交流を図り乍ら、会員企
業の発展に繋がる様な支部活動にして
行きたいと思っておりますので、会員
の皆様方ご協力の程よろしくお願いを
致します。

青年部会 部長 阿部 栄一

今年の青年部会は、租税教育活動

を通じて社会貢献を行う。実施の年
にしたいと思えます。子供たちに税に
関心を持ってもらう活動を中心に据え
てまいります。

会員の減少も目立ちます。青年部会
の新しい仲間のご推薦をお願い致しま
す。本年も宜しくお願い致します。

女性部会 部長 佐藤ウタノ

平成二十三年の新たな年を迎え、女
性部会としましては、各種研修・講習
会に社会貢献活動又、租税教育の活動
を通して、一人でも多くの部会員が参
加出来て喜びのある元氣のである活動
が、少しでも企業発展につながり、飛
躍する一年であるよう頑張りたいと思
います。本年も会員皆様のご支援・ご
協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春講演会& 賀詞交歓会のご案内

日時 平成二十三年一月二十六日(水)

午後五時

会場 「南会館」

仙台市太白区長町四丁目七十八

演題 「どうなる日本の政治・経済」

講師 政治評論家 森田 実 氏

会費 三、〇〇〇円

※講演会のみは無料

定員 先着一五〇名

申込 社団法人仙台南法人会事務局



いさば 五十集と呼ばれた行商の女性

名取市が選定した「なとり百選」にも掲載されている「笹かまぼこ」と「焼き力LEY」。薄政時代からこの名物売り歩いた行商の女性達は「五十集（いさば）」と呼ばれました。五十年行商を続けた、小齋てるよさんに、小齋さまさんの応接室をお借りしてお話を伺いました。

— 38 話 —



小齋 てるよさん

今年で八十二歳という小齋さんですが、一番先に小齋さまさんにいらしており、しかも岡上町内のご自宅からご自分で自転車を漕いで来たという、お元気で驚かされました。

「行商という仕事」

「行商の仕事は、十八歳で漁師の家に嫁いだから、お姑さん・お婆さんの手伝いをするうちに仕事を覚ええました。商売物の海産物は家族が捕ってきた物を売るのではなく、全て早朝に開上の市場で仕入れていました。同業の行商人も最も多い時は百人を越していましたので、セリ場も当時は大勢の人達で賑わっていました。」

朝五時に市場に行き、その後は七時〜八時頃までに商品を仕込んだり、自分達では作れない笹かまぼこやサツマ揚げなどを仕入れ、十時〜十一時頃までに行商先へ向かいます。私は袋原・四郎丸地区まで前に荷台の付いた自転

車のような運搬車に目一杯荷物を積み、「あんどん松」前のガタボコの砂利道を商品を崩さないように漕いで行きました。今考えても良くやっていたなと思います。一番体重があった時は七十八キロもあり、他の行商の方に比べても体格は良かった方で、体力などには自信がありました。おかげさまで今まで一度も入院をしたことがなく、健康なことが一番の自慢です。

当時、袋原には袋原住宅という三百戸程の長屋のような平屋の集合住宅があり、周りは田畑だらけで商店街という物もなく、当時は家族も多かったのが私を待っていて、行けば飛ぶように売れたものです。田中角栄内閣の時代が一番売れたと思います。

対面販売の原点とも言える行商の仕事から、商売の秘訣と商売の喜びなどをお伺いしました。

「どつとばっば来たー。」

苦労話や秘訣といった物は特に無いですが、売りに行った時には必ず、集まってきた子ども達に細かくした笹か

まぼこをあげていました。すると私に来ると子ども達が「どつとばっば（魚のおばさん）来たー。」「お母さん、どつとばっば来た。」と呼び込んでくれるようになりました。後は、平屋なので屋内で家事をしている奥さん達を見かけると、「××さあん、○○さん、魚いらねがすか」など、名前で呼びかけていました。そのうちお互い顔なじみになると、「お茶飲んでいがい」と声を掛けられるので、商売を抜きにしたお話をしている内にお客さんの家族構成や好みも分かるようになります。

嬉しかったことは、顔なじみのお客さんと姉妹の様に仲良くお付き合いさせてもらったこと。祭りに誘われたり、息子が高校の頃はお客さんの家から通学させて頂いたりもしていました。それと、十五年前にNHKの全国放送で取材を受け、放送された時は番組を見た当時の子ども達から「どつとばっばテレビに出てた」と連絡があったと聞いたことです。

その後、当時の開上の様子などをお伺いしました。行商の仕事は十四年程前に引退されたそうですが、お歌が趣味という小齋さん、いつまでもお元気でー。



名取市 専務取締役 渡辺 憲明さん

会員の皆様こんにちは、当社は名取市で土木工事業（とび・土木・舗装）貨物自動車運送業を全般に亘り行っております。創業者は私の父親で、現社長一人で始め、昭和六十一年に（有）渡辺建材を設立、その後、平成十五年に（株）ワタケンと社名変更し、今年で設立二十五周年になり、従業員も三十名程になり、皆様方のおかげを持ちまして成長してまいりました。主な得意先として、官公庁、県内ゼネコン等の企業であり、発注者側のご要望に満足していただける品質の物を提供出来る様に従業員一同努力しております。私は、親の会社に戻り十年目になりますが、始めは、出たとこ勝負で仕事をし、良い結果が得られず、失敗の日々や又、地域でも人と話す事が苦手でした。しかし、法人会青年部に入会させて頂き多くの仲間が出来、色々とアドバイスをくれる先輩達がい、感謝しております。又、趣味の野球においても、沢山の仲間を大事にして、地域発展の為に元気いっぱい地域を盛り上げて行けるように努力して行きたいと思っております。今回は、名取の笑顔一番の（有）大手商事の今野嘉秀さんを紹介します。

ですか 実の和 たちは

家族交流会

青年部会名取支部長 吉川 幸一

去る、十一月二十八日、毎年恒例の家族交流会が名取サイクルスポーツセンターにてにぎやかに開催されました。当日は、おだやかな天気恵まれて、総勢四十六名、ゲストには県連事務局長の安間様ご夫妻も参加して頂きました。

今回の交流会では、竹筒を加工した飯盒炊飯に挑戦、前日に切り出して来た竹を現地にて加工し、四十六名分の箸を小刀等にてけずり上げ、中には竹とんぼ等を作った会員も居たようです。炊飯の出来具合はというと…(?)

また、いも煮の方も、宮城風と山形風のふた鍋、バーベキューと超豪華吉田、すべて会員の手によって調理し大変おしく頂きました。



午後より子供達にてのゲーム大会、自転車競走、遊戯などなど思いう存分サービスをしてる会員がほとんどの

ようでした。長い間続けられている家族会、毎年見る子供達の成長にはほんとうに驚くばかりです。次回の開催も楽しく出来るように会員の皆様がんばりましょう。

女性部会社会貢献事業

女性部会では社会貢献事業の一環として、特別養護老人ホームへのタオル寄贈を行っております。お陰様で、部会員企業のみならず、親会、青年部会、一般の皆様より温かいご支援をいただき、あつという間に約千四百本のタオルを集集できました。

皆様よりお預かりしましたタオルは、八木山「翠風苑」、岩沼「サニーホーム」、名取「松陽苑」の三施設へ寄贈させていただきました。

ご協力をいただきました。すべての会員皆様にも、お礼を申し上げます。これからも引き続きご支援ご協力をお願いいたします。




岩沼「サニーホーム」にて




『太白三支部(中西南合同) 税務・経営研修会』開催

去る十二月二日(木)午後、南会館を会場に、これまで支部単位で行われていた役員会・研修会・懇親会が合同で行われたことで、一度に多くの会員が集い大盛会となった。

「宮城県内の経済動向について」七十七銀行大川口信一地域振興部長と「税務調査の種類と内容」仙台南税務署黒澤政弘統括国税調査官の豊富な情報分析や、わかり易い説明と笑い。その後の支部間、会友の久しぶりの親交は、多くの会員の熱気で盛り上がり、楽しいひとときが実現した。(泉)



(有)渡信鉄工
岩沼市 渡邊 浩子さん

お元気 美名実 こんばんは

会員の皆様お元気ですか？
弊社は、不景気続きでなかなか元気が出て来ないそんな現状ですが、前向きに！前向きに！「何事もプラス思考で行こう」と努力をして居る毎日です。

と言っても今現在、弊社主流の鋼製ケーシング（鉄板の曲げ加工）の減少で大きなダメージを受け続け、次の戦略、弊社で出来る事は何か？ 試行錯誤の毎日を送って居るのも確かです。まずは設備投資。今回新たにレーザー切断機を導入する事になりました。

戦うには準備が必要。この切断機は精密機械。色々なハードルを乗り越え、物にするにはもう少し時間が掛かりそうです。不景気な時の設備投資は良くないとは言いますが、基本機械が無いと新しい事は始められません。

前進あるのみ。「男は度胸、女は愛嬌」。社長のお尻を叩きながら、お得意様には笑顔で接し、これからも前向きに頑張っていきたいと思っております。次は、(有)東北リースキンサービスの高橋紀代美様へバトンタッチです。

インターンシップ

研修生を受け入れて

株式会社 東北共立

マルチプライ株式会社

当社は舞台照明音響映像ならびに付随する工事・販売を主な業務として、堅実な事業展開をしている会社です。どの企業様においても優秀な人材確保は重要な命題ですが、当社がインターンシップに取り組みようになったのは二年前からという遅いスタートでした。

しかしながら今年度は幸運なことに、昨年インターンシップで受け入れた研修生の中から、入社試験に合格した戦力となる人材も出てきました。当社がこれまでに受け入れた人は皆、礼儀正しく受け答えもしっかりしていました。

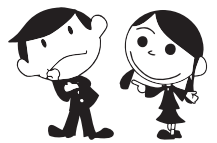
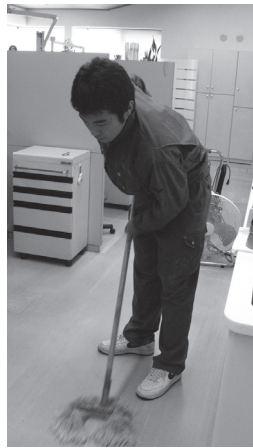
研修生各自には学習してきた得意分野があり、そこに目がいく事になります。しかしその事に固執せず、他の業務にも目を向けていけば、皆さらなる飛躍が望めると感じました。

インターンシップを受け入れることで、我々もいろいろな面で見識を深めることができました。今後も継続していきたいと思っています。

九月一日から十四日までの二週間、東北電子専門学校一年生の我妻拓也さんを、インターンシップとして受け入れました。当社でも初めての試みで、期間中は事務所の清掃、朝礼、地域ボランティア清掃など、全て社員と同じ行動してもらいました。朝礼に臨む姿勢は、全員で唱和する経営理念、経営基本方針を社員と同様、堂々と発声しており、前向きな意欲が感じられました。

営業に興味があるとのことでしたので、名刺を与え、営業社員と共に活動してもらいました。また、前向きな意欲は日報にも表れており、日を追うごとに目標が明確なものになっていくのが見て取れました。初めは自分のことだけで必死だったように思える感想が、徐々に営業という職種を冷静かつ明確に学べているように思えました。わずかに二週間の研修でしたが、「営業」を多方面から知ることの出来る貴重な経験になったのではないかと思います。そして、受け入れ側である当社で

も、こうした意欲のある学生を受け入れることは社員ひとり一人が、普段の業務態度を改めて考える良い機会になりました。今後も積極的に受け入れていきたいと思えます。



セミナーご案内

元金融マンが教える!

取引先の与信管理徹底講座

日時 平成23年2月24日(水)
午後1時30分～午後3時30分
会場 太白区中央市民センター大会議室
受講料 会員2,000円 非会員4,000円
定員 50名(定員になり次第締切)

法人会短信ファイル

10月

- 1日 青年部会仙台支部第1回例会(ホテルふじや)
- 4日 第2回総務委員会 (法人会会議室)
- 4日 青年部会名取支部第4回役員会(セントホテル太陽)
- 5日 第19回会員親睦ゴルフ大会(宮城野ゴルフクラブ)
- 5日 パソコン講習会 (名取市商工会)
- 5日 第34回事務局職員研修会 (岩沼屋)
- 8日 女性部会第2回研修事業担当委員会(法人会会議室)
- 12日 第6回正副会長会議 (ホテルふじや)
- 13日 第2回組織委員会 (法人会会議室)
- 13日 税団協定例会 (法人会会議室)
- 13日 青年部会亘理支部第1回役員会(二の丸)
- 15日 全国青年の集いとちぎ大会 (宇都宮)
- 18日 即利用できるパワーポイント講座①(法人会会議室)
- 19日 即利用できるパワーポイント講座②(法人会会議室)
- 19日 正副部会長会議 (ホテルふじや)
- 20日 即利用できるパワーポイント講座③(法人会会議室)
- 20日 青年部会仙台支部ゴルフ大会(仙台名取CC)
- 21日 青年部会名取支部第4回交流委員会(慶興産検会)
- 22日 亘理支部第3回ボウリング大会(太白1号仙台取店)
- 24日 太白西支部第7回太白山清掃登山(太白山)
- 26日 青年部会石沼支部三役会(法人会会議室)
- 29日 公益法人制度改革対応第5回検討委員会(大6階)
- 29日 第6回事務局長会議 (県連会議室)
- 31日 全国女性フォーラムみやぎ大会決起大会 (志津川ホテル観洋)

11月

- 1日 税制陳情(仙台市) (仙台市役所)
- 2日 第3回広報委員会 (法人会会議室)
- 4日 第3回総務委員会 (法人会会議室)
- 5日 青年部会第5回役員会イベント(ホテル太陽)
- 8日 青年部会名取支部第5回役員会(法人会会議室)
- 9日 女性部会第5回役員会・税務研修会(長中央市民センター)
- 10日 青年部会亘理支部研修会(亘理中央公民館)
- 11日 納税表彰式 (仙台南税務署)
- 16日 女性部会第2回交流事業担当委員会(法人会会議室)
- 16日 青年部会石沼支部税務研修会(フタキ旅館)
- 17日 六県連運営協議会(江陽グラウンドホテル)
- 18日 仙台三会合同財務対策講座 (東京エレクトロンホテル 宮城6階会議室)
- 18日 年末調整説明会 (太白区役所)
- 18日 青年部会仙台支部税務研修会(ホテルフジヤ)

全国青年の集い 「とちぎ大会」

青年部会副部長 門澤 俊夫

去る十月十四日から十五日にかけて、宇都宮市「栃木総合文化センター」をメイン会場に、「第二十四回法人会全国青年の集い・とちぎ大会」が盛大に開催されました。

本大会は、青年部会が長年取り組んでいる「租税教育活動」の事例発表や部会長サミットにおける意見交換を中心に、佐藤栄一宇都宮市長や落語家・三遊亭円楽師匠の講演などとても密度の濃い二日間となりました。

特に租税教育活動プレゼンテーションでは、全国十二の単位会が事例発表を行いました。どの単位会も素晴らしい内容で、三時間二十分があつという間に過ぎたような気がします。

租税教育活動

動にこれから取り組もうとする当部会にとって、今回の先進事例はとても参考になったと同時に、私たちが考えている「無理なく継



続できる仕組み作り」に向けてやる気と勇気を与えてくれたと思います。とても有意義で印象に強く残った栃木の二日間でした。

全国フォーラムみやぎ大会 決起大会に参加して

女性部会副部長 佐々木 靖子

小雨にけぶる志津川のホテル観洋で県内から百名を超す女性部会員が一堂に会し、来春四月二十一日に開催される「第六回法人会全国女性フォーラム」決起大会が花やかに催されました。

半年後に迫ったフォーラム実現に向けて、意義や概要を細かく確認しあうなか、数々の質問も出され時間をオーバーするほど活発な会議となりました。

二次会は各部会ごとに、アイディアを凝らした出し物をご披露。他部会の方々の芸達者ぶりに感心したり、私たちの熱演?にも大いに笑っていただきました。フィナーレでは、全員が立ち上がり、笑顔いっぱい

で当日演じる予定の雀踊りを。日頃あまり交流のない県



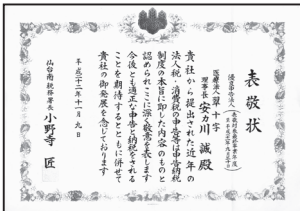
内の会員相互の気持ちが一つになった瞬間で、フォーラムの成功を予感させるものでした。

何十年に一度しかまわってこないこの「みやぎ大会」。ぜひ皆様と一緒に「みやぎのおもてなしの心」で、全国の会員の皆様を温かくお迎えしたいと感じました。

平成二十二年 優良申告法人

仙台南税務署は平成二十二年度の優良申告法人に医療法人翠十字(安カ川誠理事長)を選定し表敬状を小野寺匠署長より贈呈した。

優良申告法人は、税務署の立場から企業の経営内容を細かく分析した上(質的管理体制)で該当企業を選別認定する制度で、優良申告法人に選定されるのは、法人全体の1%足らずしかなく、企業にとって大変名誉なことです。



編集後記

世界も地方も、同時に(経済が)動く時代を迎え、地域経済にもイノベーション(革新)の必要が求められています。

世界中が、低コストやエコロジー(環境対策)省資源・省エネルギー)の方向に向かっています。

新しい時代に生き残る為の経営には、企業間ネットワークや情報交換を進展させ、グローバル化や合理化に対する競争力を補完し、差別化や商品力を高める道があると言われています。

法人会の皆さんの、コラボレーション(協働)やアライアンス(提携・共同)に、お役に立てる機関誌や委員会活動がとても重要な気がします。

泉 俊郎

広告募集中

一層の事業発展を願う会員の皆様、自社の商品・技術・サービスのアピール(広告)は、交流・親交の名刺交換同様、大切な要素です。又、広報誌のカラー化の基金として、大助かりです。

白黒

一枠タテ6cm×ヨコ17.2cm 一〇〇〇〇円

1/2枠タテ6cm×ヨコ8.4cm 五〇〇〇円

カラー

は右記の二倍になります。(広報委員会)

せんだい美名実 第278号

発行所 (株)仙台南法人会
〒980-0801 仙台市太白区大野田丁自一番四八号
電話 〇二二-二四六-三六二〇
FAX 〇二二-二四六-四五二〇
E-mail: info@namiho.com
編集 会長 西下 義則
編集 広報委員 会